

～航空局からのお知らせ～

★ノータム地点略号のルールの一部変更について

いつも航空情報へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。航空情報センターです。当センターでは、日々、航空路誌（AIP）やノータム等の航空情報を発行しています。この度、ノータム地点略号のルールを一部変更し、2023 年 6 月 15 日（木）日本時間 0 時から適用することとなりましたので、お知らせします。

ノータムの A 項には内容に応じた地点略号が記載され、ノータムを探したり分類したりするときのキーワードのひとつとして使われます。地点略号は通常 4 文字ですが、ノータムではそれに加えて、共用空港の航空局に関する内容は「地点略号/C」、また陸上自衛隊に関する内容は「地点略号/G」の 6 文字のものも使います。例えば航空自衛隊との共用空港である小松空港に関する内容は通常 RJNK を使いますが民航空誘導路に関しては RJNK/C を、八尾空港に関する内容は通常 RJOY を使いますが陸上自衛隊の管理施設に関しては RJOY/G が使われます。

今回の変更は、この「/C」と「/G」のルールを廃止して、4 文字の地点略号だけを使うものです。

【ノータム切替作業】

6/14 から 6/15 の日替わり時に有効な「地点略号/C」と「地点略号/G」のノータムは、「地点略号」だけのノータムとして新規再発行します。その後、「地点略号/C」と「地点略号/G」のノータムを取り消します。この切替作業は 6/14 の日本時間 22 時頃～を予定しています。ご迷惑をお掛けしますがご理解の程よろしくお願い致します。

【「/C」と「/G」の歴史】

そもそも ICAO が定めた地点略号のルールは 4 文字で、より長い文字数を使うのは日本独自のルールなのですが、それにはとても長い歴史があります。

当センターで確認したところ、遡ること 55 年ほど前（昭和 43 年頃）、自衛隊から通報されるノータムの構成等が地点略号を含め ICAO 規定に基づく航空局のものとは異なっていたことから、航空局側のノータムルールに統一するよう調整がなされ、自衛隊においても地点略号を含むノータムルールが認知されるようになりました。昭和 50 年には、4 文字の地点略号のほかに陸上自衛隊については「RJTB」が使用されていましたが、このうち陸上自衛隊の飛行場については「RJTB」を、陸上自衛隊が実施する射撃訓練及び不発弾処理については「RJTB/FAB」が使用されることになりました（※FAB:Firing And Bomb disposal）。つまり、この頃は一部のノータムに日本独自のルールとして 8 文字の地点略号が使用されていたこととなります。

さらに昭和 52 年頃には、航空局に関する内容は「地点略号/CAB」、自衛隊に関する内容は「地点略号/GSF」、また米軍に関する内容は「RJTZ/FIZ」となり、その 5 年後の昭和 57 年に今のルール（航空局関連は「地点略号/C」、陸上自衛隊関連は「地点略号/G」）となりました。「/C」及び「/G」は 41 年も前から使用されていることとなります。昭和 57 年といえば、テレビ番組「笑っていいとも!」放送開始、500 円硬貨発行などのほか、日航羽田沖墜落事故という痛ましい事故が発生した年でもあります。

【複雑な地点略号ルールの改善要望】

運航者の皆様からは、地点略号のルールが複雑であること、また、どのようなノータムがどの地点略号で発行されるかの把握が困難であり、航空情報の確認漏れの懸念があることなどから、以前より改善要望を頂いておりました。

一方で、「/C」と「/G」の廃止には自衛隊側のシステム改修が必要なことや、長く使われてきた複雑な手順を解きほぐす必要があったことから、自衛隊と連携を密にして段階的に進めてきました。今般、自衛隊でノータムを担当する飛行情報隊様の手厚いご支援を受け、ついに廃止に至ることができました。

【更なる航空情報の改善に向けて】

当センターでは、令和6年度末に航空情報のデジタルデータ化を予定しております。初期サービスにはノータムの一部を可視化し、情報を見つけやすくなるが含まれています。また、段階的にサービス内容を拡大していく予定です。

航空情報センターは運航に必要な航空情報を適切かつスピーディーにご利用頂けるよう、今後も運航者の皆様の『安全』を支えるため改善を進めてまいります。

本件についてご不明な点等ございましたら、航空情報センターヘルプデスク（電話 050-3146-3195）までお問い合わせください。

国土交通省 航空局 安全部安全政策課

MAIL : hqt-kogataki@mlit.go.jp

TEL : 03-5253-8111 (内線 50135・50136)

小型機安全担当

~Twitter もやっています~

https://twitter.com/mlit_kogataki
